

広島大学短期交換留学プログラム 派遣留学報告書
HUSA (Hiroshima University Study Abroad) Program Report

派遣プログラム Name of Program	✓HUSA □USAC □UMAP
留学先大学 Host University	マラヤ大学 (国名/Country : マレーシア)
所属学部・学科等名 School/Graduate School at Host	GEM
在籍身分 Status at Host University	Exchange Student (ex. Exchange Student, Special Auditing Student)
留学期間 Period of Program	2022 年 2 月 7 日 ~ 2022 年 7 月 17 日 (YYYY /MM/ DD) (YYYY /MM/ DD)

1. 留学するまで / Preparation for the Program

留学への志望動機・ 派遣先大学を希望した理由 Purpose of Study / Reason of Host Choice	マラヤ大学には 80 か国以上の留学生がいて、様々な文化を体験できる環境が整っています。またマレーシアにはマレー系、中国系、インド系が共存していて、宗教観も異なる人が多いです。このような環境で勉学に励むことで、より広い視野から問題解決をする力を身につけたいと思いました。特に、Environmental Studies というプログラムで環境学を専攻したいと思いました。開発が環境にもたらす悪影響を知り、分析的にこの問題に取り組みたいと感じました。マラヤ大学では生物学、地理学、経済学、社会学を含む様々な分野を繋ぎ合わせて環境問題を考えることができます。私はこのように多面的なアプローチをしたいと考えていました。そのうえ、自然環境が豊かなマレーシアでは、日本で見られない様々な植生を観察することも可能だと思いました。以上の理由から、マラヤ大学を希望しました。
留学準備を始めた時期 (応募する 何か月前ですか?) Commencement of Preparation for Application	大学 1 年生の秋 (1 年前)
事前準備について(どのような準備 をしたか、しておけばよかったか) Preparation Completed Prior to Study Abroad	事前に、IELTS で必要なスコアを取得して、英語力に磨きをかけました。大学 2 年次の留学になるので、自分に専門性がないことが悩みでした。マラヤ大学は質の高い授業を提供してくれるので、事前に自分が関心のあることの知識を増やしておくことより良いと思います。また、マレー語を話す人も多いので、事前に会話で使えるマレー語を習得しておくことより充実した留学生活を送れると思います。

2. 渡航について / Visa and Flight Information

ビザについて Visa	ビザの種類 / Visa Type : evisa
	ビザ申請先 / Location of Visa Application : EMGS (オンライン)
	提出書類 / Required Documents : パスポートの写真、航空便の詳細が記載された旅程表、宿泊施設の証明、
	手続きに要した日数 / Duration of Visa Application Process : 約数週間
その他必要な事前手続き Other Required Procedures	隔離が必要だったため、隔離ホテルの確保が必要でした。
出国年月日/ Date of Departure	2022 年 2 月 7 日 (YYYY /MM/ DD)
経路 (往路) / Route (Outward)	関西空港→チャンギ空港 (シンガポール) →クアラルンプール空港 (マレーシア)

現地での出迎え Pick-up Service	<input type="checkbox"/> 有/Yes (大学関係者/Univ. Staff ・ その他/Others) <input checked="" type="checkbox"/> 無/No	
到着後オリエンテーションの有 無・期間・内容 Orientation, Period, Contents	<input checked="" type="checkbox"/> 有/Yes <input type="checkbox"/> 無/No	有の場合 期間/Period : 2022.2.28 - 2022.3.10 (If Yes) 内容/ Indicate Content Covered during Orientation パティさんたちが、大学での生活やキャンパスの様子について説明してくれた。また、踊りやゲームで、留学生たちが楽しめる企画をたくさん用意してくれた。
帰国年月日 / Date of Return	2022 年 7 月 17 日 (YYYY/MM/DD)	
経路(復路) / Route (Return)	クアラルンプール空港→成田国際空港、羽田空港→岡山空港	

3. 留学費用について / Expenses

支出額 / Expenses	総額	641,084 円/yen	
	Total Amount		
内訳 Details	渡航費(往復) / Flight Ticket (Round Trip)	約 123,680	円/yen
	ビザ申請手数料/ Visa Application Charge	約 34,814	円/yen
	予防接種費用 / Immunization Charge	85,140	円/yen
	保険料 / Travel Insurance	約 70,000	円/yen
	教材費(授業料以外の学費) / Learning Material (Extra Tuition Fee)	0	円/yen
	宿舍費(住居費) / Accommodation Fee	約 91,800	円/yen
	光熱費 / Utility Cost	0	円/yen
	食費 / Meal Cost	約 100,000	円/yen
	通信費(インターネット・携帯) / Internet, Phone	約 5,250	円/yen
	交通費(宿舍-大学間) / Transportation (Accommodation ~ Univ, Campus)	0	円/yen
	交際費 / Social Expenses		円/yen
	その他 / Others (到着後1週間 強制隔離 費) (PCR 検査 費) (費)	約 100,000 約 30,400	円/yen 円/yen 円/yen

4. 授業・修学について / Courses and Study

授業の概要について(カリキュラム、プログラム、履修した科目、時間数、履修形態等) / Brief Description of Courses (Curriculum, Program, Registered Courses, Study Hours, Course Style)	Basic Korean Language • 10:00am-12:00am • オンライン (Teams)、Broadcast Journalism • 10:00am-1:00pm • オンライン (Google Meet)、Environmental Engineering and Sustainability • 10:00am-1:00pm • 対面 (8週目までは Teams)
単位互換希望の有無 / Credit Transfer from Host to Home University	<input checked="" type="checkbox"/> 有/Yes <input type="checkbox"/> 無/No
授業・勉強についてのアドバイス(留学前の履修、留学中、単位取得等) / Advice for Class and Study (Before and During Study Abroad)	履修登録は、現地での履修登録が始まってから変更することができます。最低6モジュール(約2科目)とらなければならない決まりがあります。たくさん履修している人もいますが、個人的には、少ないかなと思うぐらいの履修科目数が丁度良いと感じました。マラヤ大学の授業は、日本の大学の授業と比べてかなり内容が深く、また課題量も多いからです。

日本と異なる授業形態などにおける困難や挑戦（ティーチングスタイル・先生と学生の関係性など）/ Difficulties and Challenges Faced in Classes Different from Japan (Teaching Style, Relationship with Professors/Lecturers)	Broadcast Journalism の授業では、自分がリポーターになりきって実際にビデオを撮り編集をしました。また、マレーシアの現役ジャーナリストにアポイントをとり、インタビューをしたりもしました。実践的な授業が多く、日本のように座学では止まらない授業形態が大変でもあり、楽しくもありました。
---	---

5. 生活等について / Lifestyle		
(1) 留学先の住居について / Accommodation		
住居の種類 Type of Accommodation	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 / University Dormitory <input type="checkbox"/> アパート / Apartment <input type="checkbox"/> その他 / Others ()	
住居の広さ Size of the Room	約/approximately m ²	同居人の有無 Roommate(s)? <input checked="" type="checkbox"/> 有 / Yes (2人/People) <input type="checkbox"/> 無 / No
住居に附属する設備 Facilities in Accommodation	<input checked="" type="checkbox"/> 電気/ Electricity <input type="checkbox"/> ガス/ Gas <input checked="" type="checkbox"/> 水道/ Water <input checked="" type="checkbox"/> 給湯/ Hot Water <input checked="" type="checkbox"/> シャワー/ Shower <input type="checkbox"/> 風呂/ Bathtub <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所/ Flushable Toilet <input type="checkbox"/> 暖房/ Heating <input type="checkbox"/> 冷房/ Cooling <input checked="" type="checkbox"/> 台所/ Kitchen <input type="checkbox"/> 食堂/ Dining Room <input type="checkbox"/> 固定電話/ Land-Line Phone <input checked="" type="checkbox"/> インターネット/ Internet <input type="checkbox"/> その他/ Others ()	
住居費 Accommodation Fee	1ヶ月当たり/ per month (現地通貨/ local currency)	約/ approximately 600 円/yen
留学先での住居全般に関するアドバイス Accommodation Advice	主に Kk10 (キャンパス内の寮)か、International House (キャンパス外の寮)か、キャンパス外のアパートを選ぶことができます。Kk10 は設備的には他の住居に劣りますが、様々な国籍の学生と交流できるというメリットがあります。自分の特性に合わせて選ぶことをお勧めします。Kk10 の学生は、徒歩5分程度の隣の寮にあるレストランを利用したり、デリバリーを利用する人が多いです。	
(2) 医療について / Medical Care		
保険の加入先 Insurance (Who Designated)	<input checked="" type="checkbox"/> 本学指定の保険 / Hiroshima University <input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学指定の保険 / Host University <input type="checkbox"/> その他 / Others ()	
保険の補償内容 Insurance Coverage	補償額 / Coverage 死亡 / Death 10,000,000 円 / yen, 入院1日 / per day of Hospitalization 円 / yen その他 / Others ()	
留学前後での予防接種の必要の有無 Immunization Requirement	<input checked="" type="checkbox"/> 有 / Yes (種類 / Acquired Immunizations : 新型コロナワクチン2回、(狂犬病、A・B型肝炎、破傷風) 医療機関名 / Location of Immunization : 広島大学) <input type="checkbox"/> 無 / No	
留学先国の医療事情 (日本と比較して) Difference in Medical Service (Compared to Japan)	マレーシアには、日本人の医者が滞在する病院もいくつかあります。衛生的には日本に劣ると感じる点も多々ありましたが、受けられる医療は日本とそこまで大きな差はないように思います。	
留学先での健康管理、衛生面について特に注意すべきこと Healthcare and Hygiene	水道の水は絶対に飲みません。大学の寮には coway の浄水器が設置されているため、飲み水に困ることはありませんでした。マレー系の人々は右手で食事をする習慣があります。ですが、食事の前後は流水で手先をすすぐだけなので、私は消毒液とティッシュペーパーを常に携帯してこまめに消毒をするようにしていました。	

<p>(3) 危険を感じた地域、状況、安全管理において注意したこと / Dangerous Situations and Locations Encountered, Possible Advice for Risk Management</p>
<p>かばんは斜め掛けできるタイプのものを用い、必ず自分の前にかばんをもってくるようにしていました。ローカルレストランで、椅子などにかばんを置くことも危険と聞いていたので、常にかばんは首からさげている状態を保っていました。夜7時以降はできるだけ一人で出歩かないほうが良いです。また、昼間でも人気のないローカルの地域を一人で歩くことは危ないと思います。</p>
<p>(4) 食生活についてのアドバイス / Food – Related Advice</p>
<p>マレー料理とインド料理は、味が濃くスパイシーなものが多いです。そのぶん、飲み物は激甘なものが多いです。スパイシーなものが苦手な人は「辛さ控えめ」を、甘いものが苦手な人は「砂糖控えめ」を注文したりすると良いでしょう。また、野菜不足を感じるが多かったです。そのため、外食をするときにはできるだけ野菜の多い料理を頼むことを心がけていました。</p>
<p>(5) 気候・服装についてのアドバイス / Advice on Local Climate and Clothing</p>
<p>マレーシアは常夏です。ですが、ショッピングモールなどの室内はとても寒いので、必ず羽織るものを持ち歩くようにしていました。マレーシアではそんなに服装に気を遣わなくていいので、Tシャツとジーパンで出歩くことも多かったです。雨季には突然激しいスコールが降るため、折り畳み傘は必ず持ち歩くようにしていました。</p>
<p>(6) 学内外の施設・設備環境について（インターネット環境含む） / Available Resources (Library, Cafeteria, Campus Wi-Fi, etc.)</p>
<p>寮のWi-Fiは時々ダウンしてしまいます。復旧を待っていても、半日以上かかることもあるので、その場合は学外のカフェに行ったりする人が多かったです。学内に限ったことではないのですが、トイレの環境は綺麗ではありません。トイレトペーパーがついてないトイレが多いので、持参する必要があります。マラヤ大学は自然が豊かなところなので、勉強するにはうってつけの場所です。一方、外に出る際にはバスを使わないと遠かったりするため、やや不便ではありますが、住めば都です。</p>
<p>(7) 現地学生や地域との交流について（どのような、機会・きっかけがありましたか?） / Communication with Local Students and People (Available Opportunities?)</p>
<p>マレーシアの人々とはとにかく親切です。道端で道に迷ったとき、ある学生に声をかけたらその学生が目的地まで連れて行ってくれ、そのうえマレーシアの街を案内してくれました。その学生は留学を終えた今も大事な友人です。また、マラヤ大学にはバディ制度があり、留学中にたくさんマレーシアの素敵な所を紹介してくれます。バディさんたちは同じ学生でありながら、とても親切に相談ののってくれます。</p>
<p>(8) 習慣やマナーの違いによる対人関係等、注意すべきこと / Care and Attention regarding Customs and Manners</p>
<p>マレーシアでは左手が不浄なものだとされ、右手で食事をする文化があります。できるだけ、左手で食べものを触らないように心がけていました。（外国人に対してはそこまで厳格ではありません） 日本では約束通りの時間に來なければ遅刻とみなされますが、マレーシアでは公共交通機関でさえ遅刻は日常茶飯事です。マレーシアの文化を理解するためには、あらゆることに寛容な態度で臨むことが大切だと思います。</p>
<p>(9) 日本から持っていくべきもの、持っていくべきでないもの / What Should You Bring? What Should You NOT Bring?</p>
<p>マレーシアでは、日本の食べものやお菓子・日用品も買うことができます。やや値段は高いですが、DAISO やドン・キホーテ・無印良品・UNIQLO やよい軒・すき家などもあります。そのため、無理にたくさんの日本製品をもってくる必要はないと思います。その中でも、日常で履くことのできる自分に合ったスニーカーとサンダルは持って行って良かったと思います。</p>
<p>(10) その他生活等に関して参考となる情報・アドバイス / Other Useful Information and Advice about Life Abroad</p>
<p>共同生活を送る際は、自分がされて嫌なことは他人にしないことを心がけていました。そのため、共有スペースの清潔さも大切に、自分が使ったあとは元通り綺麗にするようにしていました。このような小さな心がけの積み重ねが、お互いの信頼関係に繋がり、同じ生活空間に暮らす学生とより良い関係を築くことができたと思います。さらには、すれ違ったときに積極的に自分から挨拶を試みることも大事だと思います。みんな優しく返事をくれます。</p>

6. 帰国後の進路について / Your Career After Study Abroad	
卒業予定年月 Expected Graduation Month and Year	2024 年 / year 3 月 / month (当初の卒業予定年月 / Expected Month and Year before Studying Abroad 2024 年 / year 3 月 / month)
卒業が遅れる見込みの場合、その理由 Reason for Extension of Graduation Month and Year?	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため / Participation in HUSA during 4th Year <input type="checkbox"/> 単位不足のため / Amount of Credits <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため / In order to graduate as a "new" graduate <input type="checkbox"/> その他 / Others (具体的に / Specific reason:)
現在の状況および今後の 予定・進路等 Current Situation, Plan and Career	現在は、国際共創学科で環境学を専攻しています。実際には、貧困問題・文化と観光・平和とコミュニケーションなどを幅広く学んでいます。卒業後は、SDGsに取り組む民間企業に就職し、キャリアを積んだ後に JICA に入り、国際協力に携わりたいと考えています。JICA に入った後は、海外の現場で働きたいです。
就職活動や留学前の単位 取得、教育実習等について の工夫 Pre-arrangement by yourself for your future job hunting, acquisition of credits of required courses and practicum, etc.	卒業に必要な単位は、3・4年で必修のものを除いてほとんどを、留学前に取得してから渡航しました。そのことで、マラヤ大学ではたくさん授業をとりすぎることなく、一つの科目に丁寧な姿勢で臨むことができました。留学前は、卒業後に大学院に進学しようと思っていたが、留学中に様々な経験をしていくなかで、やはり研究活動をするよりも現場で働きたいという思いが強くなりました。そのため、留学中に就職活動を始め、様々な業種を調べました。

7. 留学準備、留学中に役立った書籍、ウェブサイト等 / Useful Books and Website for Study and Life Abroad		
書籍、サ イト名 Name of Book or Website	詳細 (出版社, URL 等) Details (Publisher, URL etc.)	コメント Comments
留学 ワールド	https://deow.jp/malaysia/qa/	少ない情報量ではあるが、わかりやすい情報を得られました。
協定 留学近況 報告書	https://www.meiji.ac.jp/cip/report/6t5h7p00000gfpzu-att/Middle_2019_MY_Malaya_9.pdf	実際に留学を体験した先輩の話が一番現地での生活を想像しやすいです。
海外 安全ホー ムページ	https://www.anzen.mofa.go.jp/riskmap/	治安などを知るために定期的に確認していました。

8. 後輩へのメッセージ / Message for Outgoing Students who Desire to Study Abroad

留学と言えば、欧米が人気ではありますが、マレーシアは穴場の留学先だと思います。マレーシアでは、さまざまな国籍の人々が共存しています。街中ではほとんどのマレーシア人が英語とマレー語を話すことができます。そのため、日常生活は主に英語を使って生活します。イスラム教の文化をもつマレーシアでは、日本や欧米では体験できない、宗教に基づいた生活習慣を経験することができます。日本とは全く違う時間の流れをもつマレーシアの人々はおおらかに陽気な人が多く、とても親切にしてくれます。マレーシアに限らず、どの留学先になったとしても素敵な経験ができるはずです。応援しています！

9. 自由記述（日本語・1,200字程度） / Feedback (English about 600 words)

- 以下の点を踏まえ、記述して下さい。 / Please give your feedback including the following points:
 - ① 留学を終えての所感 / Please describe and evaluate your study abroad experience briefly.
 - ② 留学期間中、最も印象に残った体験・出来事 / What was the most impressive experience in your study abroad experience?
 - ③ 留学の成果、留学前と比較して成長した点 / What is your achievement through the study abroad experience?
 - ④ 今回の留学での経験や成果を今後どのように活かしたいか(将来のキャリアパスも含めて) / How do you want to make use of your study abroad experience in the future including your career?
- 写真を2~3枚程度、貼り付けてください(写真1枚当たりの容量は、500KB以下に縮小して下さい)。
Please add 2-3 photos (within 500 KB per a photo).

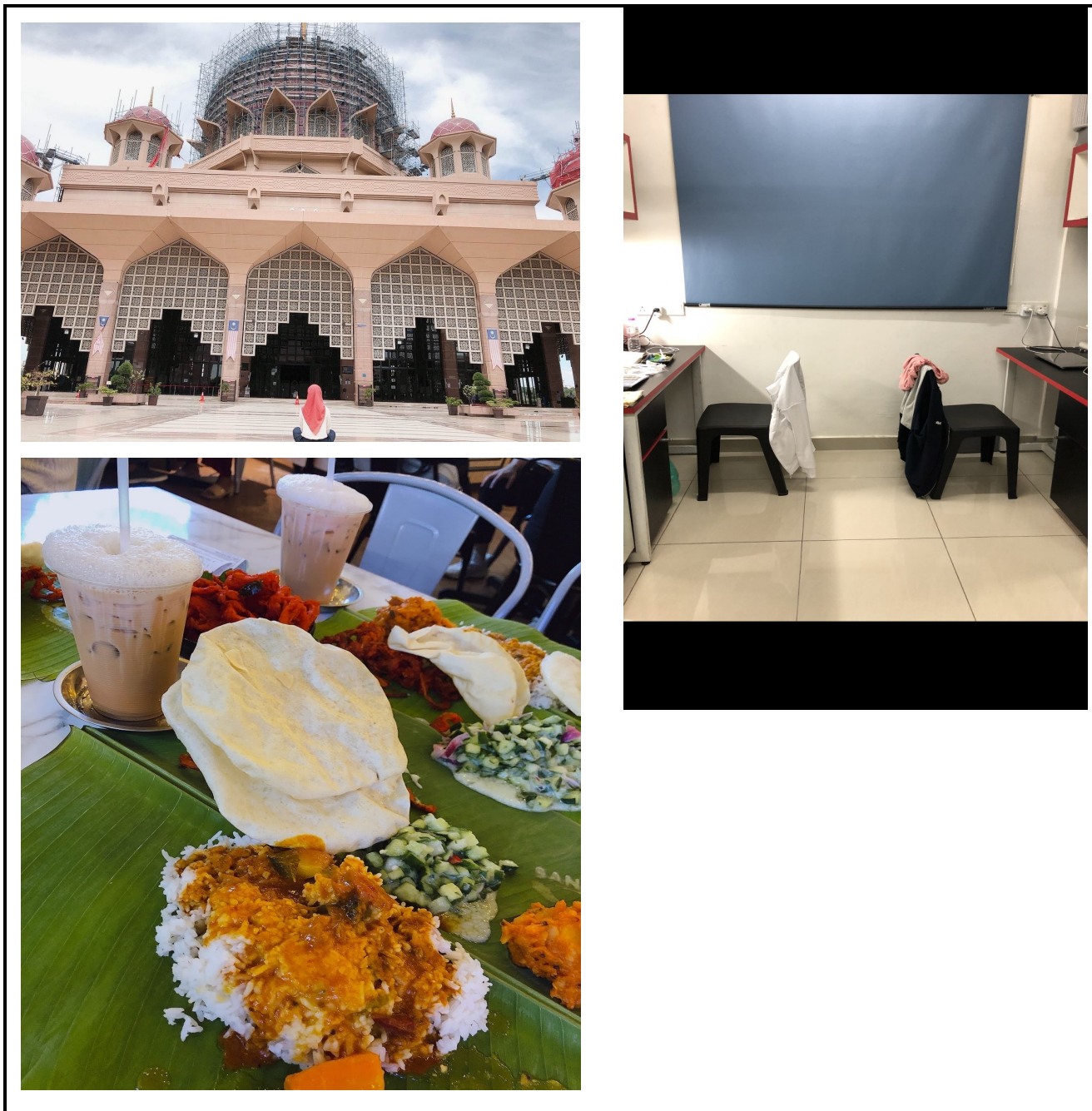
留学を終えて、私は人と違うことに対して違和感を覚えることが少なくなったと思います。留学前は勉強することにおいても、友人の前ではあまり勉強している姿を見せないようにしていました。友人に、真面目過ぎる人間だと思われなくなかったからです。しかし留学中は、自分は自分であり、他の留学生たちもみんな各々がむしゃらに勉強に臨んでいました。私も自分のやるべきことを書きだして、毎日少しずつ取り組んでいくようにしました。いくつか受けた授業のなかで、特に印象的だった授業は、Broadcast Journalism です。オンラインの授業でありながら、毎回課される宿題は実践的なものが多かったです。実際に現地のジャーナリストに連絡をとり、他の国の学生と2人1組のグループでインタビューをしました。その後、自らニュースレポーターになりきり、動画撮影・編集をしました。日本では体験したことなかったアクティブな授業に苦戦しましたが、同時にとてもワクワクしました。また日常生活では、ヒジャブをかぶり肌の露出を避けるムスリムが多い中で、中華系や他国の人は夏の暑さに対処するため、半そでや半ズボンの服装をしていました。日本では、自分が着るものすべてを他者からの評価を基準に選んでいましたが、その必要のないマレーシアで生活することで、自分が人と違うことは「はみ出た」ことではないのだと気づきました。

留学中、最も印象に残った体験はラマダンの断食です。私は4月から5月の約1か月間、イスラム教のラマダンの断食に自主的に参加しました。断食期間中は、日の出から日の入りまでの時間、一切の飲食を禁じられています。もちろんムスリム以外はラマダン月も変わらず日中に飲食をしても構わないのですが、私は実際に自分でその文化を経験することで偏見や間違った知識をなくしたいと思い、ムスリムと一緒に参加することにしました。この期間中は初めて会ったムスリムも、日本人の私が断食をしていることに驚き関心をもってくれたため、多くのムスリムと会話をすることができました。断食明けのイフタルと呼ばれる食事の時は、見知らぬムスリムが食事の席にいらしてくれたりしてくれ、マレーシアの人々の温かさを毎日感じることができました。

このような経験を通して、私は留学前と留学後の今を比べて、自ら関心のあることに挑戦する姿勢がついたと思います。留学前は、自分の英語力にあまり自信がなく、英語で話すことをできるだけ避けていましたが、マレーシアではほとんどの人が英語を母国語としていないため、自分も同じ土俵にたって積極的に会話に参加することができました。相手に伝えたいという思いさえあれば、言語は国を超え、コミュニケーションをとることができます。私は今では自分の英語力に自信をもち、積極的に外国人の人と話すことができます。英語力に限らず、宗教的な慣習や異文化など自分が関心をもったことに対して、自らアクションを起こして理解しようと努力できます。

今回の留学中に、ただ貧困問題を解決したいと考えるだけでは何も進まないことを痛感しました。日本では見えない貧困問題がありますが、マレーシアでは見える貧困を日常的に目にします。この状況で、私は将来的には JICA に入り、国際的な貧困問題に対するプロジェクトを自ら考え、それを実行することで貧困に苦しむ人々の力になりたいと思います。そのためには、自分の専門性を磨く必要があるため、まずは SDGs に取り組む民間企業に就職することを目標にしようと思います。

最後になりましたが、今回の留学はコロナ禍での異例の渡航にもかかわらず、大学の方々や私の身のまわりの大切な人たちが、全面的にサポートしてくださったおかげで実現しました。心から感謝申し上げます。今回の留学で学んだことを今後に生かし成長していくことで、私の留学を支えてくださったすべての人たちに感謝の思いを伝えたいと思います。本当にありがとうございました。これから留学するみなさんを、応援しています。



注1) 報告書およびその内容は、留学希望者への情報提供のため、HUSA ホームページおよび広島大学ホームページへの掲載、事務室での閲覧や大学の留学情報案内の作成のために利用させていただきます（氏名及び学生番号については、非公開とします）。ただし、公開にあたり不適切と判断された内容については、国際交流グループにて削除等させていただきますので予めご了承ください。 / This report and its contents will be uploaded on website of the HUSA and Hiroshima University, browsed at the office and used for information regarding study abroad at Hiroshima University in order to provide information to students who desire to study abroad. (Student name and student number are not published). If the report and its contents are included inadequate contents to be published, it would be deleted or amended it by International Exchange Group.